

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 36

井上 尚美 医師が 新院長に就任致しました。

令和5年4月1日付で、井上 尚美 医師（前副院長）が
仙台徳洲会病院 院長に就任されました。

佐野 憲 医師（前院長）は引き続き、仙台徳洲会病院 名誉院長を
務めます。



新築移転から1年。
さらなる病院機能強化のため、85名が入職。



内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」による、
ロボット支援手術を令和5年4月から開始しました。

※関連記事は、P4に掲載しております。

井上 尚美 医師(前副院長)の新院長就任の辞令が、
医療法人徳洲会・一般社団法人徳洲会理事長の
東上 震一 理事長より交付されました。



井上 尚美 院長(左)と東上 震一 理事長(右)

新院長 就任のご挨拶

『最新の医療設備と専門医療で地域から信頼される病院』を

当院は、徳洲会グループの13番目の病院として昭和61年に開院し、令和4年4月に最新の医療機器、設備を整えた現在の新病院に移転しました。

当院の理念に基づいた基本方針は、「地域住民・地域医療機関と密着した急性期医療」「いつでも何人も平等に受けられる、断らない医療」「24時間救急体制の実施」「患者様・ご家族の在宅生活と人生を支える訪問診療と介護サービスの提供」です。

私は、この基本方針のもとに『信頼』を大事にしたいと思っています。患者様からの信頼、当院で勤務しているスタッフ間での信頼、そして地域の病院、診療所からの信頼です。

また、一般診療に加えて救急医療にも積極的に取り組んでおり、年間約6,000件を越える救急要請を受け入れています。今後はこれに加えて専門医療、予防医療にも積極的に取り組んでいく所存です。仙台徳洲会病院は、地域医療機関との『信頼と連携』を築き、患者様が安心して受診でき、信頼される病院を目指します。

「令和5年度 入職式」では、
新院長として新入職員へ辞令を交付。



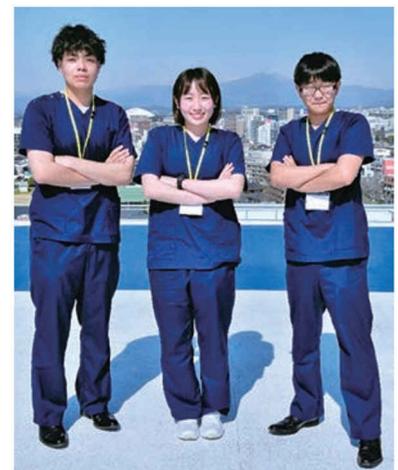
患者様に「よりそう」医療従事者になり、
その思いに「よりそう」病院を共に創る

—— 新入職者 部門別紹介 ——

56名の看護職員



5名の臨床研修医(左)と3名の救急救命士(右)



14名の副診療部の職員と5名の事務職員

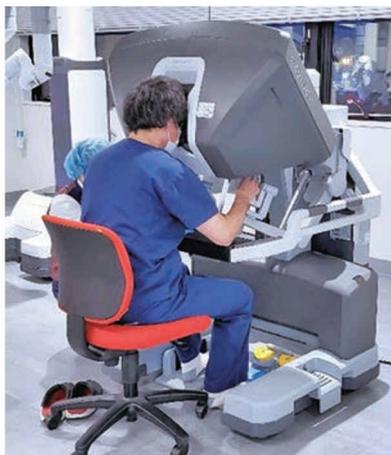


da Vinci[®] Xi[™]

SURGICAL SYSTEM



令和5年4月、ダヴィンチ稼働



シミュレーターを使用した操作練習

当院では、令和5年4月より手術支援ロボット「ダヴィンチ」によるロボット支援手術を開始しました。昨年末に導入し、まずは外科（消化器外科）でロボット手術を実施する計画を立て準備をすすめてきました。ダヴィンチの鉗子は人間の手首よりも可動域が広く、手ぶれの少ない精緻な低侵襲手術が可能、術後の早い回復などが期待できます。



ダヴィンチチーム

～十分なトレーニングを積んだスタッフで構成。
「より安全」で「質の高い手術」が可能に～



神賀 貴大 外科部長

当院の外来化学療法センター長であり、ロボット手術を担当する神賀貴大・外科部長は、「これまで腹腔鏡下手術では結腸がんでの経験が一番多く、昨年4月にロボット手術でも保険適用されたので、この経験を生かし、がん患者さんをトータルに治療する環境を整備しています。患者さんが治療を必要とする以前の生活を継続し、その質を落とさないようにするために支援していきたいです。また、腹腔鏡下では遠くから患部を見て手術を行う感覚ですが、ダヴィンチではかなり近くに見えるので、手術の視野には慣れが必要です。ただ3D画像やデジタルズームは便利だと思います。鉗子の操作性に関し、人の手では困難な屈曲や回転を実現できるだけでなく、コンピュータ制御下で、ぶれの少ない安定した動きが可能なることから、肛門近くにがんが発生すると、人工肛門を余儀なくされますが、ダヴィンチを用いれば、肛門側からの操作なしで肛門温存手術ができるので、手術に携わる人数を減らし時間も短縮できると思います。」と語る。

当院の外来化学療法センター長であり、ロボット手術を担当する神賀貴大・外科部長は、「これまで腹腔鏡下手術では結腸がんでの経験が一番多く、昨年4月にロボット手術でも保険適用されたので、この経験を生かし、がん患者さんをトータルに治療する環境を整備しています。患者さんが治療を必要とする以前の生活を継続し、その質を落とさないようにするために支援していきたいです。また、腹腔鏡下では遠くから患部を見て手術を行う感覚ですが、ダヴィンチではかなり近くに見えるので、手術の視野には慣れが必要です。ただ3D画像



ダヴィンチチームのシミュレーションの様子

手術支援ロボット ダヴィンチで高精度の低侵襲手術が実現

ダヴィンチは内視鏡（腹腔鏡など）や鉗子を装着する4本のアームをもつ「ペイシエントカート」というロボット部分と、それを操作する「サージョンコンソール」、手術中の画像を映し出し手術スタッフとも共有できる「ビジョンカート」から構成。術者は視野を拡大できる三次元の立体映像を見ながら、遠隔操作で手術を行います。保険適用は年々拡大しており、12年に前立腺がんに対する前立腺全摘術が適用となったのを皮切りに、16年に腎臓がん、18年に縦隔がん、肺がん、食道がん、胃がん、直腸がん、膀胱がん、子宮体がん、子宮筋腫、心臓弁膜症が加わった。20年には脾臓がんの手術や腎盂形成術などが対象となり、22年には咽頭がん、喉頭がん、総胆管拡張症、肝切除、結腸がん、副腎摘出、褐色細胞腫、尿管がんに適用が拡大しました。

当院にダヴィンチがあることは、地域のなかで大きな特色になりますので、若手医師の育成にも活用して参ります。

臨床研修医研修修了を祝う研修修了式を執り行いました。



2023年3月29日（木）初期研修医2年目3名の「臨床研修修了式」を行いました。

はじめに、臨床研修管理委員長の安達 健 医師と佐野 憲 院長（現名誉院長）より、研修医の先生方へ贈る言葉があり、その後、当院での研修を無事に終えた先生方からは、2年間の研修の感想や今後の抱負などを1人ずつ発表してもらいました。

当院の初期研修修了という新しい門出を無事祝うことができ、とても良い臨床研修修了式となりました。どこかでお会いできることを楽しみにしています。



左から、北原 真理 先生、外山 貴大 先生、平野 直人 先生

当院ではMRIを用いた乳がん検診
「ドゥイブス・サーチ」を
はじめました。

2/1より
開始しました。

午前8:00～午後4:00

予防医学センターで
ご予約を承ります。

安心・安全・痛くない
無痛MRI乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心

ご予約はWEBまたはTELにて受付

予防医学センター(直通)

☎ 022-771-5117



新年度になり、新しい仲間が増えて職場も賑やかになる一方、退職される方や異動される方もいて、感情が落ち着かない時期でもありますが、目の前の仕事に一つ一つ取り組んで、安心・安全に過ごせる病院になるよう一翼を担えればと思います。

地域連携室/千葉 英二

基幹型臨床研修病院の役割

当院は、厚生労働省より基幹型臨床研修病院の指定の元、現在は初期研修医2年次3名・1年次2名を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

 医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

TEL: 022-771-5111(代表) FAX: 022-771-5100

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

2023年(令和5年)4月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌

編集・発行: 地域連携室

印刷所: モリタ印刷株式会社



仙台徳洲会病院
看護部



臨床研修
センター



広報

